

八 幡 の 風

文化祭を終えて

10月21日（金）、東観中学校の文化祭が開催されました。午前中は、本年度もハーモニーホールをお借りしての舞台発表でした。

生徒会役員によるオープニングセレモニーで会場が温まったところで、第1部は合唱コンクール。透き通るような声と元気が魅力の1年生、大人の声が出始める中学生ならではの歌声が味わい深い2年生、そして磨き抜かれた迫力満点の3年生。何よりも感心したのは、中間発表後の各学級の成長ぶりです。中間発表までに練習した基礎をもとに、そこから本番まで



の10日足らずで、よくここまで仕上げてきたものだ、どの学級も、その飛躍的な成長に驚かされました。特に3年生の両クラス合唱には圧倒されました。その完成度の高さは、会場にいた誰もが認める場所だと思います。歌い終わった後の会場から

の惜しみない大きな拍手に、胸が熱くなりました。1・2年生の生徒たちもまた、一生懸命合唱に取り組んできたからこそ、3年生が積み重ねた努力の大きさや価値が、ちゃんと分かるのだと思います。

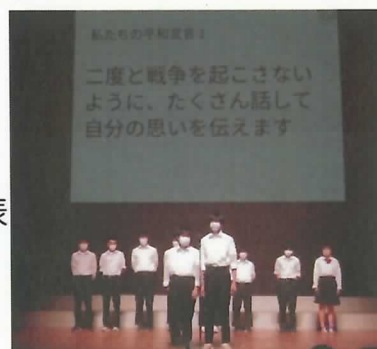
文化祭のテーマ「輪声（りんせい）」にふさわしい合唱を聴かせてくれた3年生の姿は、きっと後輩たちに受け継がれていくに違いありません。

第2部は学年発表です。総合的な学習の時間や道徳などで学習してきたことをもとに、各学年が発表をしてくれました。

1年生は、9月に訪問した三重県人権センターでの学習をもとに、人権センター設立の経緯や意義、また人権センターでの出会い学習で学んだことを発表してくれました。

2年生は、「人権マップで学んだこと」「元大阪人権博物館ガイドボランティアの北谷隆二さんとの出会い学習」「堺市平和と人権資料館」の3つについての発表後、2年生全員で詩の朗読を披露してくれました。

3年生は、平和学習を通して学んだことをもとに、





自分たちの思いや決意を一人ひとりの「平和宣言」として文字に表す取組を発表してくれました。

そして最後に作文を読んでくれた後藤大志さん。

この個人発表は、文化祭の枠を超え、聴く人の心に刺さるものでした。

第3部は吹奏楽部の演奏です。この日で引退となる吹奏楽部の3年生にとっては、これが最後の演奏です。素晴らしい演奏と会場からの手拍子、そして何よりも笑顔で演奏する吹奏楽部の生徒たちのステージ上での姿が印象的でした。



午前中の舞台発表を終え、学校に戻って、給食後、午後は展示発表です。美術部の共同作品と個人作品をはじめ、家庭科や美術科で作成した生徒たちの作品、



学年の取組で作成した個人新聞や平和宣言、そしてPTA文化部の活動で作成した作品など、展示されたものを自由に見学、鑑賞しました。本年度は美術関係の作品展示をサンヒルズ安濃のアートスペースではなく、学校の講堂を使って行いました。普段は見る機会がない、他クラスの友だちの作品や他学年の作品をゆっくり鑑賞できたのではないのでしょうか。

決して充分とは言えない限られた準備期間の中で、よくここまでの文化祭を創り上げたと感心するばかりです。加えて、前日の準備や文化祭後の片付け等も実にスムーズで、気持ちよく進めることができていました。たくましく成長し、たくさんの感動をくれた生徒たちを誇りに思います。

文化祭ステージ発表の動画配信について

以前、文書やメールでお知らせしましたとおり、本年度は、文化祭のステージ発表の様子を専門業者にて録画してもらい、後日、動画配信させていただくよう進めています。編集等の作業を経て、11月初旬頃の案内となる予定です。新型コロナウイルス感染拡大への措置とはいえ、子どもたちの活躍を直接目にすることを楽しみにしてみえる保護者の皆様に対し、参観をお控えいただくをえなかったことを心苦しく感じております。ぜひ動画にて子どもたちのステージ発表の様子をご覧いただければと思います。